

磨き作業の哲学的思考

新刊

2022年
9月下旬
発売

磨きに悩む
技術者必見の書

塗膜研磨の 科学的 アプローチ

磨き作業とは
傷の置き換えの
連続である

金子幸嗣 著

磨きの本質が分かれば
作業がキレイで速くなる

過去3回にわたる連載に
「メンテナンス編」を追加

 PROTO RIOS

※表紙は編集中のイメージです。実際とは異なる場合がございます。

磨き作業の哲学的思考

「塗膜研磨の科学的 アプローチ」

金子幸嗣 著

B5判／約180ページ／フルカラー
定価5,940円（税込・送料無料）

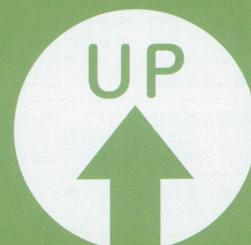
お問い合わせ・ご注文は、お近くの塗料・機械工具販売店もしくは弊社までお願い致します。

 **PROTO RIOS**
株式会社 プロトリオス

〒541-0046 大阪市中央区平野町 2-3-7
TEL : 06-6227-5661 FAX : 06-6227-5664
ホームページ <https://www.proto-rios.co.jp/>

磨きの本質が分かれば

キレイで
速くなる



ポイント解説
動画を
ちょっとだけ
お見せします!



PART1 研磨した塗面のツヤを測色する

- 1 研磨後の測色について
ツヤが測色できたと言えるための判断基準／ツヤやボケを感じる時／研磨処理の本質に起因するもの／研磨工程に起因するもの／仕上げ方法の違いに起因するもの
- 2 研磨作業と観察
それぞれの個所と視認結果について
- 3 測色値の正しさを判断する基準
- 4 各研磨工程と仕上げ工程における測色と光沢の測定
- 5 色差について
ツヤが色として測色できる証明／測色結果に基づいて、2カ所の色ツヤを比較する／色差結果と感覚との相関性／光沢度（鏡面光沢度）について／色ツヤの測色と数値化する実益

PART2 塗膜研磨の体系的考察

- 1 きれいについて
きれいの限界／自動車塗膜研磨作業の意味と方法／きれいの定義と条件／実際の作業においてどこが悪いのかを判断する／実験の注意点／実験する／きれいに研磨処理するためのパフ、コンパウンド、ポリッシャー選択の指針
- 2 太陽光で浮き立つ模様の謎
オーロラマーク（ホログラム模様）の発生原因と消し方／オーロラマークが発生する要因／光の条件／傷の条件と模様の考察／オーロラマークの正体と光の関係／オーロラマークの消し方のアプローチ／ポリッシャーの運動方法と塗膜面に残す模様／きれいでオーロラマークの発生しない研磨作業の構造
- 3 きれいさの評価基準
実体的きれいさと形式的きれいさの意味と関係／きれいさの評価方法／形式的きれいさの判断方法（手順1）／実体的きれいさを評価する前に考えておくこと／形式的きれいさをクリアした上で実体的きれいさを判断する方法（手順2）／超微粒子コンパウンドのツヤ出し剤としての性能について
- 4 塗膜研磨の体系的考察の必要性

PART3 塗膜研磨の実践に関する考察

- 1 実践に関する考察の指針と対象
考察の対象
- 2 実践方法の正しさの検証方法
「きれいになる」こと／「速い」こと／研磨力の幅の大きさと速さの推定／パフ研磨における「研磨力の幅」の意味と特徴／正しさを検証するその他の要請
- 3 研磨作業の実践 ポリッシャー編
回転ポリッシャーの使いこなし／リアルタイムで感じる感覚的判断とは／回転ポリッシャーの回転数について／回転ポリッシャーの回転数が問題になる理由／回転ポリッシャーの回転数を決定する条件の分類／パフの当て方と運び方の考察／パフの当て方について／パフと塗面との接触角度／回転ポリッシャーの移動方向／回転ポリッシャーの塗膜面上の移動スピード／ダブルアクション（ランダムアクション）ポリッシャーの例外／正しい当て方と移動方法へのアプローチ／ダブルアクションポリッシャーの当て方・移動方法と研磨力の関係／回転ポリッシャーの負荷による研磨時の塗膜面の温度と研磨力・色ツヤについて／回転ポリッシャーの平面以外の当て方と移動方法／ダウンカットが回転ポリッシャーの使いこなしで問題となる場面／ペーパーによるブツ取りから仕上げ研磨までの工程の見直し
- 4 研磨作業の実践 パフ、コンパウンド編
パフ、コンパウンド研磨／パフ、コンパウンド研磨の荒業／粉碎型（式）コンパウンドについて／雨染みやコインなどで引っかいた傷を消す／パフ、コンパウンド研磨の本質
- 5 **New** 研磨作業の実践 メンテナンス編
修理の多い故障症状とそうならないための方策、メンテナンスの心得など／パフの清掃と交換のタイミング／パフを洗う／パフの洗い方

索引

※掲載内容は編集中のものであり、実際とは異なる場合がございます。



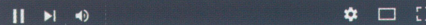
科学的 塗膜研磨の アプローチ

磨き作業の哲学的思考



購入者
限定

本文中のQRコードを
読み取ると
解説動画が視聴できます!!



著者プロフィール

ケキテック株式会社
代表取締役

金子 幸嗣

(かねこ こうじ)

1986年（昭和61年）、名城大学大学院修士課程、刑事法専攻を修了。その間に法哲学の受講・研究、他大学で哲学と心理学の聴講を経て、同大研究生となる。

在学中よりディテールリングと鍍金塗装後の磨きを経験し、1988年（昭和63年）にケキテックを設立。パフ、コンパウンド、ポリッシャーなどを製造、販売しながら、全国各地で磨き作業の講習を行う。また、同社においてパフ、コンパウンド、ポリッシャーの構造及び磨き方における特許を取得している。

「月刊ボデーショップレポート」2017年6月号～12月号に「塗膜研磨の科学的アプローチ」、2018年4月号～20年2月号（隔月）に「塗膜研磨の体系的考察」、2020年4月号～22年3月号（隔月）に「塗膜研磨の実践に関する考察」を連載。